

# 情報システム演習

## B分野関連紹介

2018/6/14

情報システム学科

情報システム演習B

小宮山智志

# 情報システムって何だろう？

## 情報システム

開発者1  
(サービス提供側など)

開発者2

コンピュータシステム  
\*コンピュータを利用したビジネスモデルや行政のしくみなどを含む

利用者1  
(顧客・市民など)

利用者2

利用者3

A: 情報とシステム

情報システム

D: コンピュータと通信

人の感性・社会の仕組み

B: 人間  
と社会  
と企画

C: 経営と  
組織

地域の問題解決

経営・企画・流通・生産企画

情報  
創造

提案

企画

企画

企画

# B: 人間と社会分野

“人”の感性や  
体・心のしくみ

“人々”の行動  
や地域の結び  
つき

分析

# 情報システム演習

## (B分野 第1回)

# 演習の概要

人間や社会を対象としたB分野における種々のデータ(アンケートのデータ、心理実験のデータ、社会調査のデータなど)はバラツキが多いのが特徴である。B分野の研究においては、このバラツキの多いデータから意味のある情報を引き出さなければならない。

この時に威力を発揮するのが統計学、特に少數のサンプルデータから背後の母集団の特徴を科学的に推定する推測統計学である。

# 演習のねらい

推測統計学の中でも利用頻度の高い「検定」を取り上げ、これを習得することを主たる目的としている。

- ①統計上の計算はエクセルの統計計算機能を活用
- ②報告に耐えるグラフの作成
- ③分析結果の報告  
(レポート・プレゼンテーション)

# 演習の構成

回数	課題	項目	ねらい
1回目	1	一対の標本による平均の検定： t検定(1)	t検定の習得：エクセルの分析ツールを活用する
2回目		一対の標本による平均の検定： t検定(2)	
3回目	2	クロス集計とカイ2乗検定	カイ2乗検定の習得：エクセルの統計関数を活用する
4回目	3	グループでの課題演習(1) —グループ編成、課題の選択—	習得した手法を活用する
5回目		グループでの課題演習(2) —データ解析—	
6回目		グループでの課題演習(3) —発表資料作成—	
7回目		グループでの課題演習(4) —発表—	

# B分野演習の配点

下記の配点で評価する

- ・コメント点 : 5点 × 7 : 35点
- ・課題1レポート点 : 10点
- ・課題2レポート点 : 5点
- ・グループ課題点 : 50点
- 計 100点

# 情報システム演習

## (B分野 第4回)

# 予定

回	予定
第1回	チーム分け、課題決定、解析開始
第2回	解析続き・発表資料作成
第3回	第1回発表(個別)、発表資料修正
第4回	第2回発表(全体)

# 本日の流れ

- 予定・本日の流れ
- 課題説明1
- チーム分け
- 働き方のタイプ:6色の帽子
- 連絡先交換・チーム名決定
- 課題説明2
- プロジェクトマネージャー・分担決定
- 解析開始

# 課題説明1

- ・グループ課題①～⑤のうちのひとつ
- ・グループで話し合って決定

# 発表方法

- ・パワーポイントの資料に分かりやすくまとめる  
簡潔な短い文章  
大きな字  
絵(図、表、写真など)で説明
- ・発表時間7分±1分
- ・発表者:チームで相談

# チーム数・人数

- 22名 ⇒ 5チーム
- 4名チーム 3つ
- 5名チーム 2つ
- チームの分け方は、、、

# チーム分け

- ・ バースデーリング
- ・ 教室内で人の輪を作ります。
- ・ 教卓前 小宮山5月3日生まれ
- ・ 時計回りに誕生日順に並びます。
- ・ 5名・4名・4名・4名・4名の5チームを作ります。

# チーム内自己紹介

- ・知っているかもしれないけれど
- ・4象限自己紹介

名前	今日の気分
好きな食べ物	働き方のタイプ

# 6色の帽子

スタンフォード白熱教室  
第4回 「6色の考える帽子」

# 働き方のタイプ

- 6つのタイプ
  - 白:情報を確認することが好き
  - 緑:斬新なアイデア出すことが好き
  - 黄:アイディアのメリットを見つけるのが好き
  - 黒:アイディアのデメリットを見つけるのが好き
  - 赤:気持を前面に出すのが好き(情熱)
  - 青:段取りを考えるのが好き(プロジェクトマネージメント)

# 連絡先交換

- ・ チームで連絡方法を決めてください。  
LINEのグループ、メールなど
- ・ そのチームの連絡にコミヤマも入れてください。
- ・ 小宮山のメールアドレス、LINE IDはホワイトボード参照

# チーム名を決めよう

- ・ チームで共通点を探す
- ・ ⇒共通点に関するイカした名称をつけよう
- ・ チーム名とメンバーネームを印刷して提出

# 課題説明2

- 各課題について説明します（テキスト参照）。
- 取り組む課題（グループ課題①～⑤）をチー  
ムで決めてください。
- 先ほどの連絡方法で、コミヤマも含めて全体  
で共有

# プロジェクトマネージャーを決め てください

- プロジェクトマネージャー 1名
  - 全体の進行を見る
  - 予定外に遅れている
  - サポートをつけ、締め切りに間に合うよう
- サブマネージャー1名
  - プロジェクトマネージャーが休んだ時のために

# 課題の解析開始

- ・ 分担する
- ・ 全員が行う
- ・ 検定は2名以上が行い、数字が合うか確認
- ・ グラフは1名が作成するが、必ず別のひとにチェックしてもらう
- ・ 発表も全員が行う: 分担
- ・ チームごと キレのいいところで解散

# グループ課題 第3回

## (全体6回目)

- すでに発表準備終わったチーム
  - 発表練習 コミヤマ聞きます。
  - →国際交流センターに移動
- まだ準備中
  - 進めてください。
  - 発表可能になったら、順次、発表練習
- 資料:来週水曜日までに小宮山にメールの添付ファイルで送信

komiyama@nus.ac.jp

B分野

# 最終回：時間タイト 素早く行動

- 発表順 じゃんけん 勝ったチームから
- 相互評価：自分のチーム以外
  - ポータルの講義連絡送信済み
  - URLにアクセスして回答：発表始まる前に各自準備
  - 回答結果は、全員に公開（ポータルで送信）
- 総合得点の一人平均値 最多のチームに景品
- 6色の帽子：振り返りアンケート
  - 自分とチームのメンバーの色（自分の知っている自己・他者の知っている自己）
  - これも全員に公開

# 発表順

- 1 :
- 2 :
- 3 :
- 4 :
- 5 :
- 優勝チーム: ???